

47

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平4-30902

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)3月12日

B 27 B 9/02

6581-3C

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全2頁)

⑮ 考案の名称 電動式丸鋸

⑯ 実 願 平2-73222

⑰ 出 願 平2(1990)7月9日

⑱ 考 案 者 坂 本 全 平 大阪府大阪市北区中之島6丁目2番27号 積水ハウス株式会社内

⑲ 出 願 人 積水ハウス株式会社 大阪府大阪市北区中之島6丁目2番27号

⑳ 代 理 人 弁理士 渡辺 三彦

㉑ 実用新案登録請求の範囲

(1) 丸鋸の上部を覆うケース本体と、該ケース本体の一方に固設され且つ前記丸鋸を回転駆動せしめる電動モータと、前記ケース本体若しくは電動モータに固設された把手部材と、前記ケース本体に傾動可能に保持され且つ被切断材に当接するテーブルと、該テーブルの丸鋸に対する傾斜角度を調整する傾斜角度調整機構とを具備してなる電動式丸鋸において、

前記テーブルを丸鋸の一方から電動モータ側にのみ延出させたことを特徴とする電動式丸鋸。

(2) 傾斜角度調整機構は、テーブルに固設され且つ該テーブルの傾動支点を中心として回転可能な有孔部材と、該有孔部材に形成された円弧状長孔と、該円弧状長孔に挿通された止着部材とを具備してなり、且つ、前記テーブルが丸鋸に対して略直角に配置された状態と該テーブルの反傾動支点側端部が上方に向かつて傾斜した状態とを取り得るように前記円弧状長孔と止着部材との相対位置を設定したことを特徴とする請求項(1)記載の電動式丸鋸。

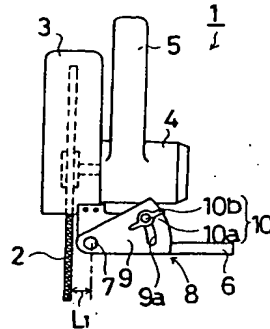
(3) テーブルの傾動支点を、丸鋸の一方から電動モータ側に所定寸法離間させて配置したことを特徴とする請求項(1)または(2)記載の電動式丸鋸。

図面の簡単な説明

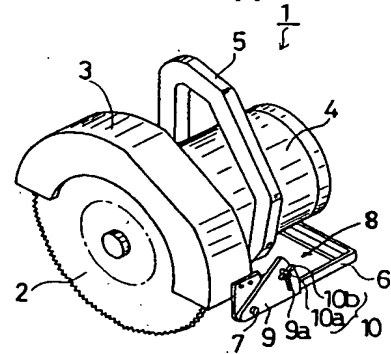
第1図乃至第4図は本考案の実施例を示すもので、第1図は電動式丸鋸の斜視図、第2図は電動式丸鋸のテーブルを丸鋸に対して直角にした状態を示す正面図、第3図は電動式丸鋸のテーブルを丸鋸に対して傾斜させた状態を示す正面図、第4図は電動式丸鋸の使用状態を示す正面図である。また、第5図乃至第8図は従来例を示すもので、第5図は電動式丸鋸の斜視図、第6図は電動式丸鋸のテーブルを丸鋸に対して直角にした状態を示す正面図、第7図は電動式丸鋸のテーブルを丸鋸に対して傾斜させた状態を示す正面図、第8図は電動式丸鋸の使用状態を示す正面図である。

1……電動式丸鋸、2……丸鋸、3……ケース本体、4……電動モータ、5……把手部材、6……テーブル、7……支点(傾動支点)、8……傾斜角度調整機構、9……有孔部材、10……止着部材。

第2図

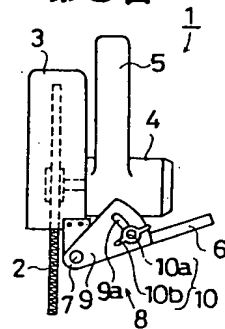


第1図

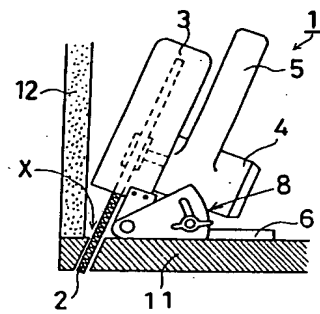


- 1…電動式丸鋸
- 2…丸鋸
- 3…ケース本体
- 4…電動モータ
- 5…把手部材
- 6…テーブル
- 7…支点（傾動支点）
- 8…傾斜角度調整機構
- 9…有孔部材
- 10…止着部材

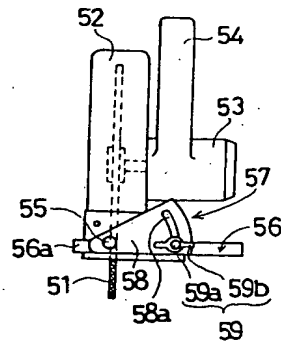
第3図



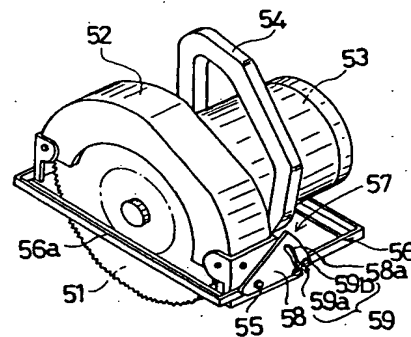
第4図



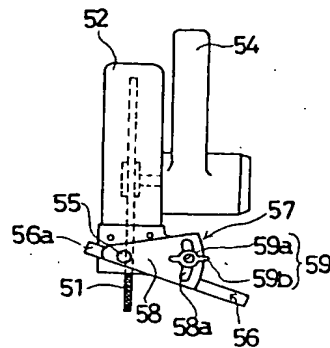
第6図



第5図



第7図



第8図

